

## 会議録

会議の名称	令和3年度加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会
開催日時	令和3年10月20日(水) 13時30分から15時まで
開催場所	加東市滝野公民館1階研修室(加東市下滝野1369番地)
出席及び欠席委員の氏名	<p>(出席委員4人) 酒井隆昌、神戸滋和、山田将人、神戸和博</p> <p>(欠席委員2人) 大久保榮造、秋原義博</p>
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<p>加東市教育委員会 教育長) 藤本謙造</p> <p>教育振興部 部長) 田中孝明</p> <p>教育振興部生涯学習課 課長) 長田徹 副課長) 三和田剛浩</p> <p>係長) 岸本素直 主査) 藤原光平</p>
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>I 会議内容</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の運営状況</li> <li>・文化財企画展</li> <li>・資料館講座／文化財教室</li> <li>・寄贈、寄託資料</li> <li>・その他 「第3期 教育振興基本計画(R3~7)」策定</li> </ul> <p>(2) 令和3年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センター(ロビー)文化財常設展示の開始</li> <li>・文化財企画展</li> <li>・ギャラリー活用事業／収蔵品展</li> <li>・資料館講座／文化財教室</li> <li>・加東遺産講座</li> <li>・資料館無料開放</li> <li>・電子黒板の導入</li> </ul> <p>2 協議事項</p> <p>加古川流域滝野歴史民俗資料館の運営について</p> <p>3 現地視察</p> <p>加古川流域滝野歴史民俗資料館及び地域交流センター 常設展示</p> <p>II 会議の経過</p> <p>別紙のとおり</p>

(別紙)

令和3年度加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	1 開会
教育長	2 挨拶
事務局	3 報告事項
	(1) 令和2年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業報告を説明 ・加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の運営状況 ・文化財企画展 ・資料館講座／文化財教室 ・寄贈、寄託資料 ・その他 「第3期 教育振興基本計画 (R3～7)」 策定  ＜質疑・意見等＞
委員	歴史民俗資料館の来館状況について、市内・市外の人数内訳が分かるように出来ないか。
事務局	新型コロナウイルス感染症対策で入館者名簿を整備しており、令和3年度分からであれば対応できるので、内訳が分かるものを作成する。
委員	ここ数箇月、来館者数に回復の兆しがあるとのことだが、要因は分かるか。加東アート館の客が流れてきているのか。
事務局	子ども連れも数組あったが、遠方の大人の方が多く来館され、人流の緩みが大きいかと思う。
委員	学校からは4年生のみ来館されているが、どういうことか。他の学年も課外授業を実施されれば入館者増に繋がるのでは。
事務局	総合学習のなかで加東遺産巡りをされており、その一環で来館されている。過年度では5、6年生も来られているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で取組みが少なかった。又、他の学習メニューを選択されることもある。資料館見学は4年～6年生に適した内容ということで見学されることが多い。
委員	今年、第二次世界大戦等をテーマにした新聞連載が大々的にあったが、当資料館としても取り組んではどうか。
事務局	今のところ具体的な計画は無いが、従前から臨時展を行っており、令和2年度も終戦時期に開催した。終戦から長い年月が経って戦争の記憶が薄れつつあるが、風化することの無いよう、肌で感じてもらえるような展示を継続的に行っていこうと考えている。
委員	米作りの歴史紹介において、学校の課外学習の際には、昔は田を牛で耕していたことを教えてほしい。
事務局	学校からは、農業に限らず昔の暮らし全般について学びに来られることが多い。そのなかで、今と昔の生活様式の違いが分かるような解説をしており、稲作の技術についても時代の変遷が分かるようにしている。

委員	加東市にはため池が多いが、用水の流れが生態系に大きく関係しており、そこに住む人々の営みにも影響を及ぼすものである。貴重な財産として一目を置いてほしい。
事務局	加東市は全国的にもため池が多い地域で農業用水などに利用されてきた。治水・灌漑工事の際は文化財に影響を与えることもあり、又、自然植物の発達や自然環境の形成に関連しており、ため池から加東市の成り立ちを紐解くことも出来ると思う。  ＜ほかに質疑・意見等なし＞
事務局	(2) 令和3年度加古川流域滝野歴史民俗資料館の事業計画を説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センター地域交流センター（ロビー）文化財常設展示の開始</li> <li>・文化財企画展</li> <li>・ギャラリー活用事業／収蔵品展</li> <li>・資料館講座／文化財教室</li> <li>・加東遺産講座</li> <li>・資料館無料開放</li> <li>・電子黒板の導入</li> </ul> ＜質疑・意見等なし＞
事務局	4 協議事項について説明 加古川流域滝野歴史民俗資料館の運営について
委員	発掘調査や資料整理の様子を映像収録して電子黒板で放映できないか。子ども達の学習に利用するとともに記録を後世に伝えていけるのではないかな。又、歴史に興味を持つきっかけ作りになると思う。
事務局	文化財の保護活動や調査業務の紹介にもなり、裾野を広げるうえで効果があると思う。記録を残した映像もあるが、撮影や編集など体制の整備も必要であり、今後、何らかの形で取り入れていけないか検討課題として参考にさせていただく。
事務局	委員の改選について昨年の委員会でも取り上げたが、委員の高齢化が進む中で、今後、世代交代を進めていかざるを得ず、適任者があれば事務局に情報提供いただきたい。
委員	高齢で身体の衰えを感じている。後継者探しは喫緊の課題だ。
事務局	ほかに全体を通して意見等あればお聞きしたい。  ＜ほかに質疑・意見等なし＞
事務局	これを以て会議室での協議は終了する。この後、現地視察を行う。
事務局	5 現地視察 加古川流域滝野歴史民俗資料館、地域交流センター 常設展示
事務局	6 閉会

以 上